

平成19年度の東北地域食料自給率向上協議会の取組

協議会としての取組

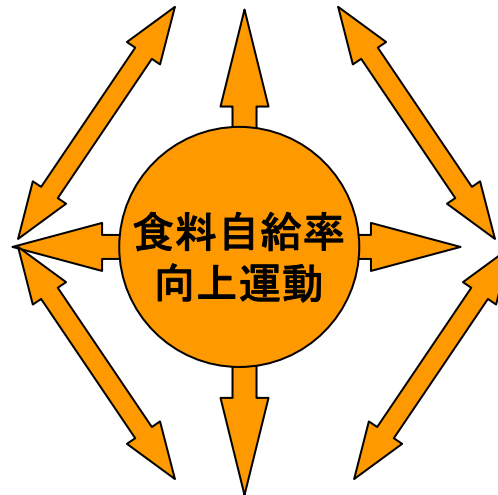
- ・食料自給率向上に向けた総括シンポジウム
- ・東北地域食料自給率向上協議会の開催

情報の発信

- ・協議会活動情報のプレスリリース
- ・構成員間相互の情報提供、情報交換
- ・食料自給率向上キャラバン、食と農を語る会
- ・東北地域食料自給率のホームページ
- ・食料自給率向上メールマガジン

構成員が連携した取組

- ・「仙山交流味祭」
(宮城県、山形県、JA宮城等)
- ・「県域の関係団体が横断的に連携」
「ふるさと産品消費県民運動(青森県域)」
「地産地消運動(岩手県域)」
「地産地消運動(秋田県域)」
「夢未来やまがた食育県民運動(山形県域)」
- ・「食材王国みやぎ」のサイト運営
(宮城県、JA宮城、仙台商工会議所等)等、連携した取組を推進。



農政局の取組

【食料消費面の取組】

- ・食育の推進
- ・地産地消の推進
- ・食の安全と消費者の信頼の確保

【農業生産面の取組】

- ・担い手の育成・確保
- ・農地の有効利用の促進
- ・食品産業と農業の連携強化

構成員の特徴的な取組

- ・食育・地産地消等の取組(各県)
- ・米の消費拡大に向けたイベント
(JA各県中央会)
- ・「いい日、いい汗栄養まつり」で食事バランスガイド、生活指針の普及
(宮城県栄養士会)
- ・「24時間テレビ」でチャリティ販売
(JA宮城青年連盟、女性組織協議会)等、独自性が高い取組を展開。

協議会全体の取組計画

○協議会活動の総括シンポジウム(仮題)

時期:平成19年12月

場所:仙台市内

参集範囲:

- ・農政局長・次長、参加を希望する協議会構成員、有識者等
- ・消費者、食品産業関係者等を中心に300人規模の参加者を想定

内容(仮):

(協議会の取組、食と農を語る会、キャラバン等での意見交換等を踏まえて、講演やパネリスト等を検討)

- ・一般消費者の国産農林水産物の利用促進を切り口にした、食料自給率向上関係基調講演
- ・パネルディスカッション

○食料自給率向上協議会の開催

第1回 6月27日 「18年度の東北地域食料自給率向上協議会の取組の検証」と「19年度の東北地域食料自給率向上協議会の取組」

第2回 19年2月 「19年度の東北地域食料自給率向上協議会の取組の検証」

○各県のイベントにおける食料自給率向上の取組

- ・農業祭等、各県が主体で行うイベントにおいて、食料自給率向上についてPR等をお願いします。
- ・事務局としても、資料の提供等、協力していきます。

○構成員が連携した取組の推進

- ・イベント等の共催・相互参画、情報交換、生産者・流通業者・消費者との連携等、構成員間の連携を積極的に進めていただくようお願いします。
- ・また、そのような取組は、協議会の特徴的な取組として、事務局としても資料の提供、広報等の支援を行っていきます。

構成員が連携した取組

(特徴的な取組を抜粋)

取組事項・連携構成員等	取組場所 (時期)	具体的内容
<p>「仙山交流味祭」</p> <p>宮城県、山形県、JA宮城中央会</p>	<p>仙台地域・山形村山地域</p>	<p>仙山圏と呼ばれる、宮城県仙台地方振興事務所と山形県村山総合支所管内で生産された野菜や水産加工品など、各地域の特産品が一堂に会する「仙山交流味祭」を仙台地域と山形村山地域で開催。</p>
<p>「ふるさと産品消費県民運動」</p> <p>農林水産祭実行委員会 <small>(青森県、JA青森中央会、JAあおもり信連、JA全農あおもり、JA共済連青森、青森県森林組合連合会、青森県漁業協同組合連合会、青森県農業会議、NHK青森放送局、(社)青森県ふるさと食品振興協会、(社)青森県物産協会)</small></p>	<p>青森県内各地</p>	<p>「攻めの農林水産業」推進の一環として、県内消費者に対して県産農林水産物及びその加工品の愛用と農林水産業の重要性をアピールし、「地産地消」の一層の浸透と生産者及び関係団体の販売意欲の向上を目的に、6月、11月を地産地消推進月間とし、期間内に農林水産業にかかる多様な行事を開催。 メインイベントとして、「青森県農林水産祭」を11月10日～11日の2日間開催予定。(昨年は多彩なコーナー、関係団体による物販と農林水産業に係る普及・啓発の出演で約2万5百人が来場)。</p>
<p>「地産地消運動」</p> <p>いわて地産地消推進機構 <small>(岩手県、JA岩手県中央会、全農岩手県本部、岩手県森林組合連合会、岩手県漁業協同組合連合会、岩手県生活協同組合連合会外各種協同組合の県連組織)</small></p>	<p>岩手県内各地 (通年)</p>	<p>平成13年6月に、岩手県の「地産地消」の推進を県民運動として幅広く展開するため、農協(JA)・森林組合・漁協(JF)・生協(COOP)等の各種協同組合の県連組織が構成団体となり「いわて地産地消推進機構」を設立した。平成18年度は、① 地産地消活動に取組む民間活動の促進とネットワーク化、連携・協働活動の促進 ② 生産者と地元食品産業との連携強化 ③ 学校給食、保育園、病院等における県産食材の利用拡大と食育の推進 ④ 地域における取組み促進 ⑤ 地産地消サポーターに対する県産食材のPR を実施した。</p>
<p>「地産地消運動」</p> <p>「食の国あきた」推進会議 <small>(学校給食協議会、栄養士会、調理会、PTA連合会、農山漁村生活研究グループ協議会、教育庁)</small></p>	<p>秋田県内各地 (通年)</p>	<p>消費者や生産者、教育関係者、飲食業関係者、学識経験者などで構成する「食の国あきた推進会議」を設置し、食を巡る現状や課題を抽出しながら、課題解決に向けた活動目標等を定めた「秋田食育推進計画」を策定し、県民と一体となった地産地消を推進する。平成18年9月9・10日を食育に関わる関係団体・企業及び行政がとも連携して「食の国あきた県民フェスティバル」開催し、子どもから高齢者まで県民総参加による体験型の食育と地産地消に関連した総合イベントを開催し、秋田の豊かな食文化等について情報発信するとともに、食育や地産地消を広く県民に普及啓発する。</p>
<p>「夢未来やまがた食育県民運動」</p> <p>夢未来やまがた食育県民運動推進本部 <small>(山形県、教育・保育・子育て支援・健康・医療等の幅広い分野の民間団体、市町村)</small></p>	<p>山形県内各地 (通年)</p>	<p>夢未来やまがた食育計画に基づく「夢未来やまがた食育県民運動」の展開。平成19年度は、① 食育フェアの開催や食育実践活動のモデルとなる優良事例の表彰等による啓発普及、② ボランティア団体等が行う食育活動などへの支援、食料消費アドバイザーの養成とアドバイザーによる普及活動、高校生による地場農産物を使った料理コンテスト開催への支援、食農連携コーディネーターの配置による産地と多様な実需とをつなぐコーディネートなど、多様な取組みに対する支援を実施。</p>
<p>「食材王国みやぎ」</p> <p>宮城県、JA宮城中央会、仙台商工会議所</p>	<p>インターネット上 (通年)</p>	<p>食材王国みやぎは、宮城県の海・山・大地の食材資源や立地条件等の優位性を基盤にしながら、地域独自の発想や創意工夫を活かした、生産から加工・流通・消費に至るまでのトータルな食に関する多様な取組を目指しています。 サイトでは、みやぎの食材のネットショップ、食材データベース、宮城県ゆかりのスポーツ選手の好物の紹介などがあり、アクセス件数が50万件超となっている。「ごほん大好き」のコーナーは、県内小学校の給食、農業体験、納豆・豆腐作りなどを紹介し、「食と健康バランスチェック」のコーナーは、ばくばく博士の質問に答える形で食事のバランスがチェックでき、お年寄りから子供まで誰もが食事を楽しめる「ゴールドフード」のレシピが紹介されています。 また、「自給率にご用心!!」というコーナーでは、日本の食料自給率の現状、食事毎の自給率、食料自給率早見ソフトの紹介を行っています。</p>

食料自給率向上に向けた農政局の取組

食料消費面の取組

1 食育の推進

- (1) 地方公共団体の食育推進計画の取組支援
- (2) 日本型食生活の一層の普及・促進

2 地産地消の推進

- (1) 地場産農産物の活用促進

3 食の安全と消費者の信頼の確保

- (1) GAP(農業生産工程管理手法)の導入の推進
- (2) 食品表示の遵守状況の確実な改善
- (3) リスクコミュニケーションにおける理解度の向上

農業生産面の取組

1 担い手の育成・確保

- (1) 認定農業者の育成・確保と集落営農の組織化・法人化
- (2) 新たな人材の育成・確保
- (3) 女性の参画促進

2 農地の有効利用の促進

- (1) 担い手への農地利用集積の推進
- (2) 企業等の農業参入の促進
- (3) 耕作放棄地の解消・発生防止の促進

3 食品産業と農業の連携強化

- (1) 食品産業クラスター展開事業の推進と地域ブランド食品の普及の促進

構成員の特徴的な取組

(構成員の取組計画から抜粋)

団体名	取組事項(分野)	取組場所	具体的内容
青森県	総合販売戦略に基づく販路拡大	県内外	<ul style="list-style-type: none"> ・大手量販店との共同ブランディングによる、旬・希少性・味といった、こだわり商品の商品化や畑丸ごと一括仕入れへの産地の誘導。 ・県産品の大量物流体制を確立するための、産地から市場・食品スーパーを結ぶ「サプライチェーン」の構築。 ・首都圏での県産品の展示商談会による販路拡大。 ・「食育宣伝隊」が幼稚園、小学校を訪問し食育を直接アプローチする「あおり食育大作戦」を展開。
岩手県	学校給食、保育園、病院等における県産食材の利用拡大と食育の推進	岩手県内	<ul style="list-style-type: none"> ・県産食材供給の仕組みづくりの推進。 ・学校給食等における県産食材利用の優良事例の顕彰と県内への波及。 ・各地域における地元食材を活用した「学校給食」の推進。 ・保育園等の福祉施設における地元食材を利用した「給食」の推進。
宮城県	学校給食での地元農産物の利用拡大	宮城県内	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発支援及び首都圏の百貨店や県内小売店舗におけるセールスプロモーションの開催。 ・地場産野菜等供給システムの確立。 ・「すすくみやぎっ子」みやぎのふるさと食材月間」の開催。
秋田県	食の国あきた県民フェスティバル、地域の食育フェスタの開催	秋田県内	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関わる関係団体・企業及び行政がとも連携し、子どもから高齢者まで県民総参加による体験型の食育と地産地消に関連した総合イベントを開催し、秋田の豊かな食文化等について情報発信するとともに、食育や地産地消を広く県民に普及啓発する。
山形県	食育の推進 地産地消	山形県内	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢未来やまがた食育計画」に基づく「夢未来やまがた食育県民運動」の展開。 (食育県民運動のスローガンに基づく食育の実践・普及) ・山形県地産地消推進計画に基づき、①生産者と消費者・実需者との共感関係の構築(食産業の振興)、②「食」と「農」についての県民理解の促進(食育の推進)。
福島県	関係者と一体となった地産地消・食育の推進	福島県内	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消強化期間(10・11月及び毎月8日)、学校給食等における地産地消の推進。 ・実需者(外食産業・ホテル・旅館業の調理師等)を対象とした県産農林水産物の利用促進セミナーの開催。 ・卸売市場を中心とした地場流通の推進。 ・うつくしま農林水産ファンクラブ会の運営。 ・地域における食育推進ネットワークづくりと農林水産業への理解や地域食文化の継承を図る「食の楽校(がっこう)」の推進。
青森県農業協同組合中央会	食料(米)・農業を考えるフォーラム(仮称)	青森市	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の一般消費者・生産者が一堂に会し、食料・農業について考えてもらいイベントで、記念講演などを実施している。食料・農業を考える懇談会(会員はJA関係団体のほか、消費者団体・生協・報道機関など)と協賛し、参加者を募っている。(平成17年度食と農を考えるふれあいミニコンサート700人)(食と農トークライブ200人)。
岩手県農業協同組合中央会	「地産地消運動を促進する岩手県協同組合協議会」を通じた地産地消運動	岩手県内	<ul style="list-style-type: none"> ・「釜石、地産地消まつり」の実施。(記念講演や農畜産物の販売・スローフード体験ツアー等) ・「学校給食における地産地消と食農教育」をテーマとした実践報告と意見交換会の実施。 ・「WTOをはじめとする農業貿易交渉の現状と課題」をテーマとした講演等に取り組みます。
宮城県農業協同組合中央会	食農教育を通じた消費者・次世代への取組	県内	<ul style="list-style-type: none"> ・JAグループ宮城食農教育イベントの開催や各種イベント等への参画。 ・学校給食をはじめとする地産地消の浸透支援。 ・はやね・はやおき・あさごはんキャンペーンの展開。 ・JA学園を通じた農業・JA理解の促進。
秋田県農業協同組合中央会	県産米の供給促進	県内小中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・県内小中学校の児童・生徒を対象にお米・ごはんをテーマとした図画・作文コンクール(第32回)を実施するとともに、受賞作品集を作成し小中学校に配布する。(参考:昨年度参加校 作文 30校、図画 29校)
山形県農業協同組合中央会	JA愛・ライス・フェスタ2007	山形市、「馬見ヶ崎川 河川敷」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一の芋煮会の協賛イベントとして、「JA愛・ライス・フェスタ2007」ゾーンを設置し、県内外の消費者を対象に食料・農業の大切さを広く啓発するとともに、県産米および農業への理解を求める。
福島県農業協同組合中央会	食彩ふくしま弁当チャレンジコンテスト	福島市	<ul style="list-style-type: none"> ・県産農産物を使用した弁当づくり。(高校生部門、生産者部門)
宮城県農協青年連盟 JAみやぎ女性組織協議会	24時間テレビチャリティ	仙台市内	<ul style="list-style-type: none"> ・JA青年部が主体となり取り組むイベントと連携し、野菜、果実、花卉、米などの農産物及び農産加工品を県内各地の青年部盟友・女性部員より提供いただきチャリティ販売し、全売上を寄付する。
(社)宮城県栄養士会	食事バランスガイド、食生活指針の普及、メタボリック症候群の対策健康相談	仙台市	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市(アエル)において、第5回「いい日、いい汗栄養まつり」の開催。

情報の発信について

○協議会活動情報のプレスリリース

- ・協議会の開催や農政局主催のイベントに、協議会構成員の特徴的な取組も加えて、農政局から一括してプレスリリースする。

○構成員相互の情報提供、情報交換

- ・協議会構成員が行うイベント等で、他の構成員が作成したパンフレットや今後行うイベントのチラシ等の配布。
- ・協議会構成員が行うイベント等で、協議会の活動等についての紹介や発言。

○自給率向上キャラバン、食と農を語る会、モニター等交流会

- ・給食等を活用した食育・地産地消の推進を重点テーマとして、各県でのキャラバン。
- ・食料自給率の向上を中心に関係者の意見交換を行う「食と農を語る会」を実施。
- ・農業者、流通加工業者、消費者情報提供者等と情報交換、意見交換を行うモニター等交流会の実施。

○東北地域食料自給率ホームページ、メールマガジン

<http://www.tohoku.maff.go.jp/jikyuritu/index.html> (自給率のホームページ)

<http://www.tohoku.maff.go.jp/jikyuritu/jikyumg/index.html> (メールマガジン)

- ・協議会構成員が行うイベント等の、ホームページやメールマガジンでの紹介。
- ・協議会構成員や農政局のホームページの相互リンク。

協議会各構成員の取組情報の提供等、ご協力をお願いします。

○その他

- ・広報誌「土と水と人間と」(隔月)への自給率向上関係記事連載。

標語・ロゴマーク・食料自給率向上協議会アピールを活用しましょう。

標語 「食料自給率 高めて安心 我が家の食卓」

- ・各種イベント、パンフレット、ホームページ等で、標語やロゴマーク、食料自給率向上協議会アピールを、目的に合わせて御利用下さい。

- ・なお、使用の際は事務局まで御一報をお願いします。(連絡先は農政局企画調整室 地域分析係 Tel:022-263-1111)



ロゴマーク